

第48回

# 茨城県救急医学学会

と き：令和6年9月7日(土) 午前9時～午後4時

ところ：茨城県メディカルセンター(水戸市笠原町489)  
(ハイブリッド開催：「ZOOMウェビナー」)

一般演題53題 (午前9時～12時40分)

挨拶 (午後1時15分～午後1時20分)

茨城県医師会会長 松崎 信夫

特別講演 (午後1時20分～午後2時25分)

座長 筑波大学附属病院高度救命救急センター 救急・集中治療科教授 井上 貴昭

「世界の医療を考え、日本の救急災害医療を行う」

筑波メディカルセンター病院救命救急センター長 阿竹 茂 先生

シンポジウム (午後2時25分～午後3時55分)

「能登半島地震への派遣を踏まえて、

南海トラフ地震、首都直下地震に備えての課題」

司会 国立病院機構水戸医療センタードクターヘリ・災害担当医長 石上 耕司

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター看護師長 青木 正志

「DMATの立場から」

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター消化器外科部長 川崎 普司 先生

「DMATロジチームの活動について」

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター看護師長 青木 正志 先生

「DPATの立場から」

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学准教授 高橋 晶 先生

「DHEATの立場から」

ひたちなか保健所所長 金本 真也 先生

「JRATの立場から」

志村大宮病院副院長兼茨城北西総合リハビリテーションセンター長 大仲 功一 先生

「JMATの立場から」

岡崎外科医院院長 岡崎 匡雄 先生

